

御園橋改築事業

令和3年6月



御園橋改築事業について

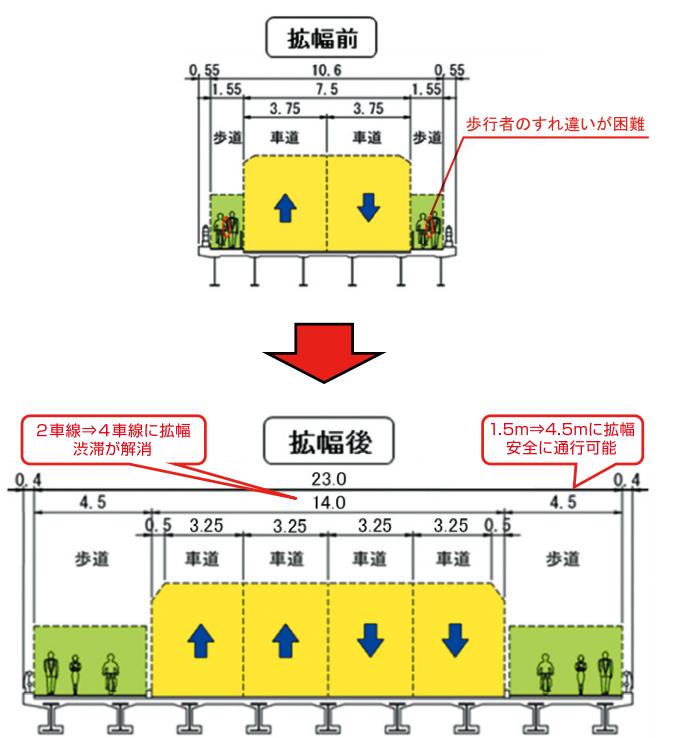
箇所図



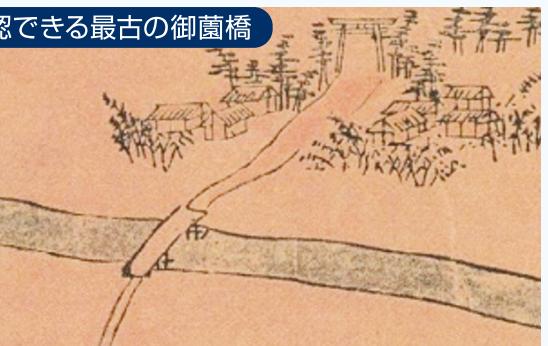
概要図



御園橋標準断面図



御園橋の歩み



最古のものでは、承応3年(1654年)の古地図で御園橋の姿を確認することができる。



『葵祭図屏風』寛政(1789年)～文化・文政(1830年)に御園橋を渡る葵祭の行列が描かれている。



昭和10年8月11日、鴨川の橋の大半(20橋)が流される大水害が発生し、御園橋も流失したが、水害の2年後の昭和12年12月に架け替えられた。御園橋は、水害後初めて鴨川にかけられた鉄の橋であった。



平成27年には下流側半断面が完成し、令和2年10月に御園橋全断面が完成しました。

京都市建設局 道路建設部 道路建設課

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
TEL 075-222-3577 / FAX 075-213-0559

令和3年6月発行 京都市印刷物第034243号



建設局イメージキャラクター
けんくん



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!



建設局イメージキャラクター
せっちゃん



御園橋改築事業が完成

市長あいさつ



京都市長
門川 大作

事業概要



整備前の御園橋～上賀茂神社前交差点

事業名	御園橋改築事業
事業箇所	北区上賀茂御園口町～紫竹上堀川町
事業期間	平成27年度～令和3年度
事業費	約30億円
延長・幅員	L=300m (うち橋りょう区間L=70m) W=約22～24m

御園橋は、一級河川鴨川に架かる緊急輸送道路上の橋りょうであり、「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、橋りょうの架け替えを実施しました。

本橋は、架設から約80年経過しているうえに、通行する自動車及び歩行者の通行量は非常に多いにもかかわらず、幅員が狭く交通渋滞を招いており、歩道も狭く歩行者のすれ違いも困難な状況がありました。そのため、橋りょうの架け替えにより耐震性能や必要な幅員を確保するとともに、御園橋東側の道路拡幅や無電柱化を実施することで、歩行者等の安全性の確保や道路交通の円滑化を図りました。

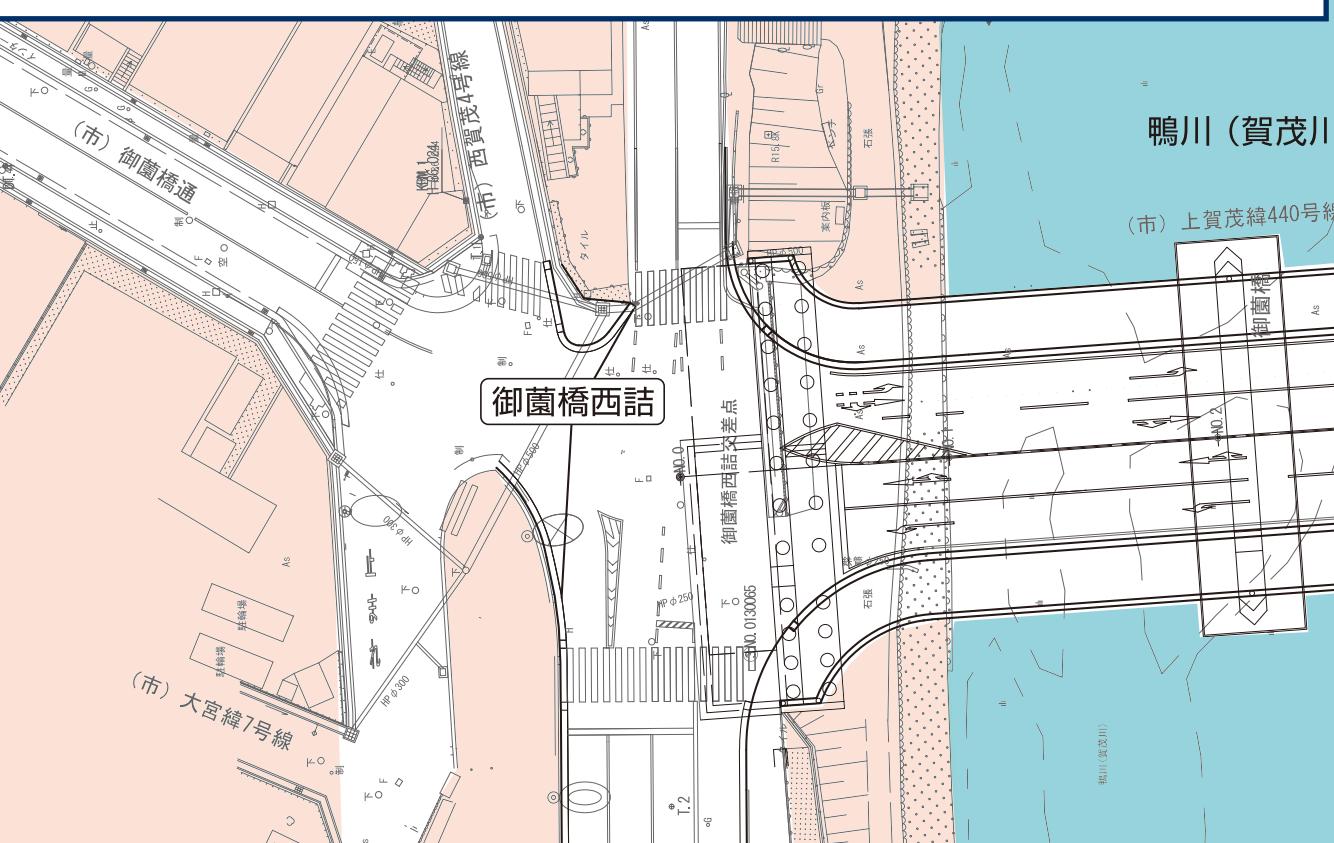
また、本橋は賀茂別雷神社（上賀茂神社）に近接するなど、景観上、重要な位置にあることから、学識経験者と地元住民の方を交えた御園橋景観検討会議を実施し、橋りょうのデザインの方針を決定しました。

御園橋を拡幅・架け替え

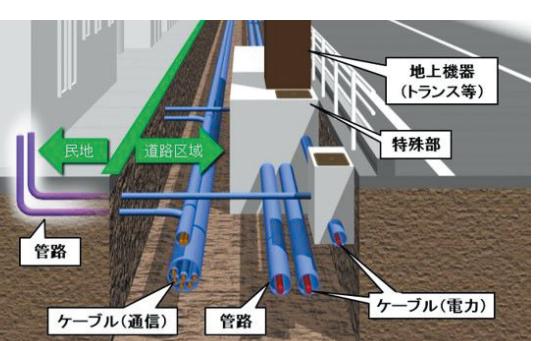


御園橋（令和2年10月完成）

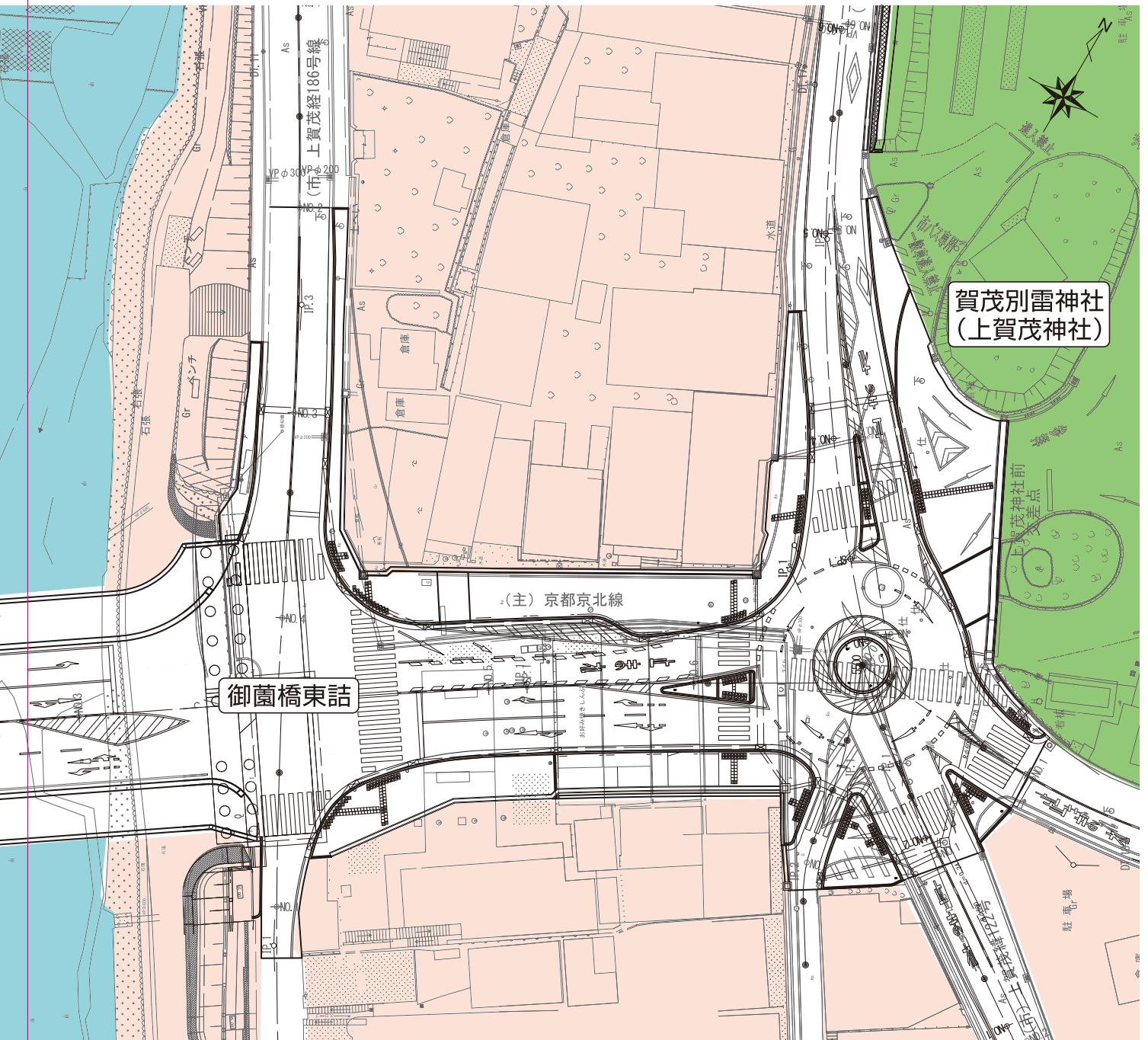
耐震性の確保、交通渋滞の緩和や歩行者の安全性確保を目的に橋りょうを拡幅し、架け替えました。同時に、橋りょうの側面には朽隠しを配置、高欄は賀茂別雷神社（上賀茂神社）の舞殿の柵を参考にデザインを設定、橋脚には石張り意匠を施すなど、上賀茂周辺の景観に配慮しました。



無電柱化に向けて電線共同溝を整備



景観の保全、防災性の向上を目的に、御園橋西詰交差点から上賀茂神社前交差点までの区間にて、電線共同溝（地中に管路等を敷設）を整備しました。今後、整備した管路等に電線類を通し、地中の電線類に切り替えたうえで、地上の電柱・電線類の撤去を行います。



道路拡幅、ロータリーを再整備



交通渋滞の緩和や歩行者の安全性確保のため、御園橋東詰から上賀茂神社前交差点間の主要府道京都京北線において、車道の拡幅や歩道を新設しました。また、上賀茂神社前交差点のロータリーを再整備することで、車両と歩行者の通行空間を明確化しました。